日本ブランドを支える 岐阜県産業界

リーマンショックの傷も癒えない中、東日本大震災が発生した。日本経済の先行きの不透明感はこの上ないほどに強まっている。デフレは依然として克服できず、円高の進行も留まるところを知らない。新興国の企業が力をつけ、世界市場での競合も激しさを増している。さらにエネルギー問題も加わった。日本でモノづくりを続けることの不安を口にする経営者は少なくない。しかし、この逆境にあってしっかり先を見据え、国内で積極投資に動く企業がある。内需を掘り起こすべく新市場の創造・開拓に向け、新技術・新製品の開発を着々と進める企業も少なくない。「モノづくり立国」を貫くための挑戦が岐阜の地でも続いている。

国内で積極投資
電子部品や移動電源車向け

イビデンは総投資額350億円をかけ、パソコン向けICパッケージ基板を生産する大垣中央事業場（岐阜県大垣市）に、新たに第2工場棟を建設中だ。延べ床面積は約4万8000平方㍍。最先端の技術と最新鋭の設備を導入し、次世代製品の量産拠点として2012年夏の稼働開始を目指している。

アピ（岐阜市）は約50億円を投じ、池田医薬品工場（岐阜県池田町）の南側約3万3000平方㍍の敷地に新工場を建設中だ。新工場では、創薬ベンチャーのUMNファーマ（秋田市）が国内で初めて開発したH5N1型鳥インフルエンザワクチン原薬の製剤を請け負う。1日で最大20万本のワクチンを生産できる規模とし、早ければ12年にも生産を始める予定だ。

神鋼造機（同大垣市）は東日本大震災後を受けた移動電源車とクレーン車用ウインチの増産に対応するため、本社工場への10億円の設備投資計画を半年前倒しするとともに、さらに2億円を追加投資する。ディーゼル発電機を搭載した移動電源車は、電力会社や通信会社などから例年の2倍を超えるペースで受注している。このため電源車で発電した電力をチェックする試験装置を増やして月産能力を6台に倍増する。また震災後に月産台数が約6割増えたウインチは、バリ取りなど鋳造後の後処理ラインを増やして対応する。

10月に稼働するアマダの土岐事業所

受注が倍増した神鋼造機の移動電源車

大型誘致に成功

モノづくりの伝統を誇る岐阜県。東海環状自動車道（愛知県豊田市―岐阜県土岐市―三重県四日市市）などの交通インフラにも優れ、大型企業誘致に成功している。

アマダは岐阜県土岐市の工業団地「土岐アクアシルヴァ」に新工場「土岐事業所」を完成した。旋盤・研削盤などの工作機械とバンドソーの生産を集約し、10月に稼働する。ここを拠点に切削加工分野を強化。得意の塑性加工、レーザー加工に並ぶ第3の柱に育て、金属加工機械の総合メーカーを目指す。

土岐事業所は約15万7000平方㍍の敷地に工場棟とテクニカルセンターを持ち、延べ床面積は約4万平方㍍。総投資額は150億円。月産能力は200台だ。太陽光と地熱でエネルギーをまかなう環境配慮型の工場としたのも特徴だ。

土岐アクアシルヴァには、トヨタ自動車系ベンチャーのアドマテックス（愛知県みよし市）も進出する。半導体の封止材などに使う真球状セラミックス微粒子の工場を9月に着工する。12年10月に稼働する予定だ。

新工場では直径10ナノ㍍（ナノは10億分の1）の新製品も手がける。15年に年60億円の生産高を見込む。投資額は約40億円。増産と災害時のリスク分散に、岐阜県への進出を決めた。

生き残りへ国際競争力
イビデン　竹中裕紀　社長

携帯電話やパソコン向けの基板やICパッケージなどの電子部品と、ディーゼル車用排ガスフィルターや特殊炭素製品などのセラミック製品を主力とするイビデン。外国企業を主要顧客に持ち、アジアや欧州など客先に近い場所での生産を推し進めている。最近ではマレーシアにスマートフォン向けマザーボードの新工場を完成させ、さらに第2工場も着工した。

―海外拠点への積極的な投資が続いています。

「電子部品はパソコン向けに代わり、スマートフォン向けの需要が急増している。近い将来ICパッケージも手がける計画で、投資を検討中だ。設備を整えてシェアを獲得し、しっかり稼げるようにしたい。一方で、国内にも投資している。大垣中央事業場に建設中の第2工場棟は、パソコン向けICパッケージ基板の次世代、次々世代製品の生産拠点として、12年夏に稼働予定だ」

―日本で生産することのメリットは。

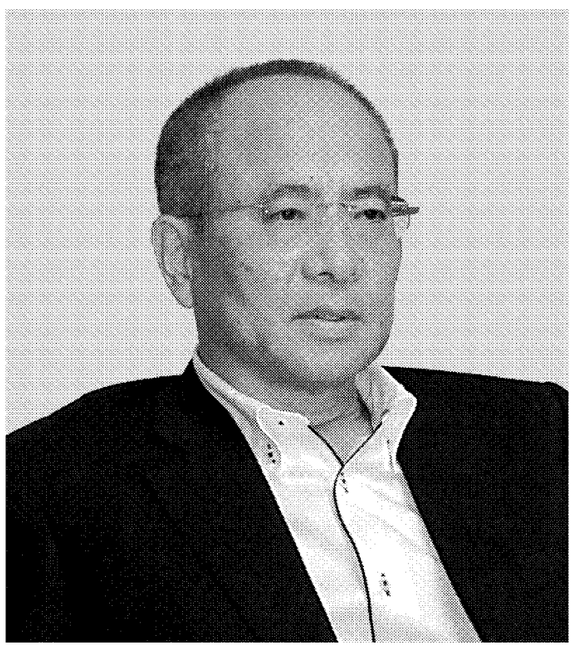
「中部地方にはトヨタ自動車をはじめモノづくりの世界的な企業があり、我々も岐阜でその影響を受けている。世界のライバルより強くなろうと高い意識を持てる良い環境だ。ただ現実は厳しい。円高や高い法人税、さまざまな法規制に電力不足が加わり、もはや製造業が日本で生産すると自体がリスクとさえ思える状況だ。幸いにも当社は旧揖斐川電力時代からの水力発電所や工場内発電で、自社の消費電力の3分の1をまかなえる。これは強みだ」

―国内拠点の役割をどう位置づけていますか。

「国内で開発した製品をグループの海外拠点に展開するためのマザー工場だ。今、海外拠点の顧客への技術サポートは現地で行うよう現地化を進めている。その中で、マザー工場として国内拠点は海外拠点との壁をなくし、グローバルなサポート体制を築いていく」

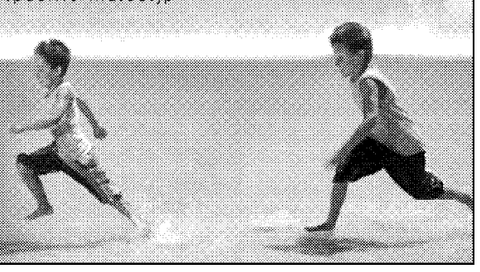
―国際化が大きなキーワードですね。

「海外生産の比重が高まるにつれ、海外拠点の経営の現地化を進める必要が出てきた。今後1年で現地人材を経営幹部に登用する仕組みを作り、優秀な人材の確保や現地社員のモチベーション向上につなげたい。各拠点の幹部候補には〝イビデン・スピリット〟を持ってもらうため、本社に集まって研修してもらうことになる。本社も国際化への対応が今以上に求められるだろう。12年に創立100年を迎えるが、岐阜でさらに100年生きていくためにも、今、国際競争力を付けることが不可欠だ」



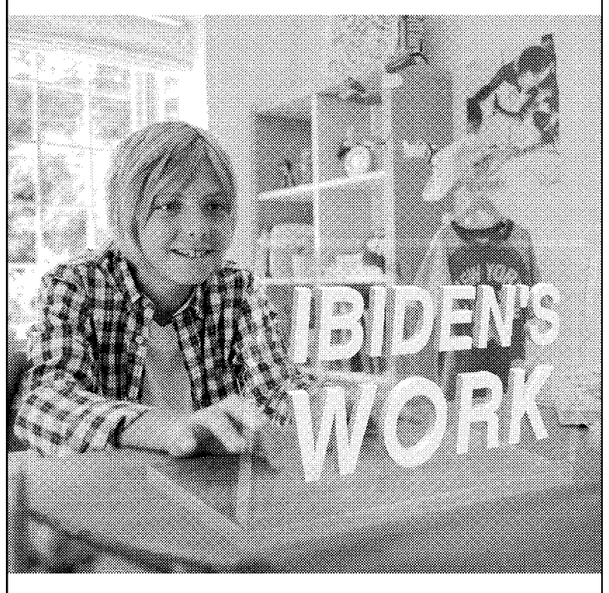
ときめきを力タチに。
生活スタイルや社会システムが大きく変化する中で、
クルマづくり・モノづくりも絶えず進化し続けています。
岐阜車体は、トヨタの商用車・救急車、
多様なモジュールの供給を通じて、時代の流れに柔軟に対応。
お客様が心ときめく、
付加価値の高い製品をおとどけしています。
www.gifubody.co.jp

岐阜車体工業株式会社
各務原市鵜沼三ツ池町6-455　TEL. 058-384-2161（代）　FAX. 058-384-2174

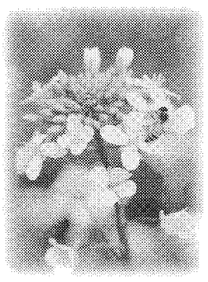
PACIFIC 太平洋工業株式会社
本　社／岐阜県大垣市久徳町100　TEL（0584）91-1111
工　場／西大垣・東大垣・北大垣・養老・美濃・九州・東北
海外拠点／台湾（台中）・韓国（釜山）アメリカ（シンシナティ）
タイ（バンコク）・中国（青島・天津）
http://www.pacific-ind.co.jp
夢ある次代へ
…人と未来をつなぐ創造企業


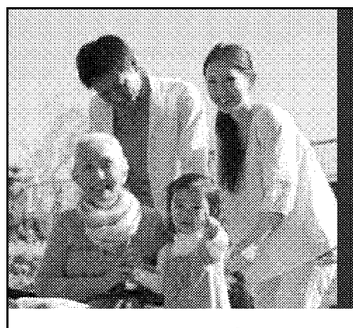
中部電力
エネルギー産業に携わるものとして、
環境の保全活動をつづけています。
中部電力では苗木の寄贈、植樹など、環境を守る取り組みを積極的に行っています。
http://www.chuden.co.jp

熱可塑性樹脂による
高強度・超軽量素材のハニカムコア材
TECCELL
TECHNOLOGY OF HONEYCOMB CORE
あらゆる産業での
省エネルギー化に貢献します。
◇物流・梱包資材分野において
・省資源化・CO_2削減など環境負荷軽減
・多品種小ロットの対応
・要望サイズ・要望強度へのオーダーメイド対応
・軽量化によるハンドリング効率の向上
など、あらゆる用途に対応し、
物流改善・効率化のお手伝いをします。
◇製品部品、建材、家具等の分野において
熱可塑性樹脂の特性によって
曲げ加工、プレス加工、溶着、3次元加工が容易であるため
様々な分野で用途展開が可能であり、
あらゆる分野の省資源化に貢献します。
RISU 岐阜プラスチック工業株式会社
本社 〒500-8721 岐阜市神田町9丁目27番地（大岐阜ビル12階）
TEL〈058〉265-2232　FAX〈058〉265-2479
URL http://www.risu.co.jp

暮らしをバージョンアップする。


見えないところで情報通信を支える。
それもイビデンの仕事です。
IBI イビデン株式会社
〒503-8604　岐阜県大垣市神田町2-1　☎0584-81-3111　www.ibiden.co.jp


世紀を越えて
自然の恵をあなたのチカラに
健康補助食品の
総合メーカー
API
アピ株式会社
代表取締役社長　野々垣　孝彦
本社／〒500-8558 岐阜市加納桜田町1-1
TEL 058-271-3838
工場／【池田・池田医薬品・揖斐川・本巣】


「清潔」と「健康」の
プロフェッショナルとして、
未来を支え続けます。
●リースキン事業
●調剤薬局事業
●介護用品レンタル事業
●病院関連事業
●アクアクララ事業
●ハウスケア事業
●寝具レンタル・リネンサプライ事業
すこやかに生きたい、
その願いのそばに。
ご家庭からオフィス、医療機関まで。
株式会社トーカイが衛生管理のプロとして
あらゆる場所をクリーンにする
ノウハウを重ねて、半世紀以上が経ちました。
時代が進むほどに強くなる健康への願い。
その一つひとつを受け止めながら、
私たちは、すこやかな未来を創りだす
挑戦を続けてまいります。
株式会社トーカイ
〒500-8828 岐阜市若宮町9丁目16番地　TEL 058-263-5111＜代表＞
http://www.tokai-corp.com/